

# すももの郷通信

落合小  
学校通信  
No. 3  
2022,5,17  
発行 宮崎

## 『三智の言葉』

『この三つの言葉で、勉強好きな子どもが育つ』 齋藤 孝著 PHP新書

齋藤氏によると、子どもの教育で一番大事なことは、勉強を通じて、生きる力となる頭の働きの良さを獲得していくこと（勉強する意味は、受験競争に勝ち抜くことではなく、頭の働きのいい状態を増やすこと。）であり、そのために必要な「学習の習慣」は次の三つの言葉で身につくそうです。

- (1) 何かを覚えた後の言葉「いま、言ってみて」。口にすることで聴くが定着しやすくなることは、科学的に明らかです。
- (2) やる気を引き出す言葉「すごい、努力する才能がある」。自分は努力ができる人間なんだという確信が生まれます。
- (3) 思考の整理をする言葉「まず、何からやる?」。算数の文章題にも求められる、段取り力を伸ばす一言です。

長野県の懐古園にいくと、島崎藤村の藤村記念館があります。「小諸なる古城のほitori 雲白く遊子（いうし）悲しむ」という『千曲川旅情の歌』が有名です。

藤村は、『三智の言葉』を残しています。「人の世には三智がある。学んで得る智、人と交わって得る智、自らの体験によって得る智がそれである」。この『三智の言葉』は、自ら学ぶ人を豊かにしてくれる学びを表しているのだと思います。齋藤氏の三つの言葉は、自ら学ぶ人の大事な基礎となる話のように思えます。子どもたちが自ら学ぶ人であるために、学校でも家庭でも子どもたちを鍛えていきましょう。「自ら追究して得る智、人と関わりあって得る智、自らの体験によって得る智」を体得させるべく、学校も家庭も創意工夫を重ねなければならぬと考えています。



### 1, 2年生交通安全教室 5月2日(月)

駐在さん、警察署職員、交通安全指導員(2名)をお招きして、1, 2年生の交通安全教室が行われました。最初に、教室で交通安全のルールを確認しました。青信号は「進め」ではなく、もしかしたら、車が来るかもしれないと気をつけてわたることや、1秒間で車(時速40km)は11mも進むことを教えていただきました。その後、外に出て実際に道路を歩いて確認しました。横断歩道を手を挙げて渡ったり、車が止まってくれたらお辞儀をしたりと実際にその場で教えてもらうことができました。



交通安全のルールを守る、自分の命は自分で守ろうとする落合小学校の子どもたちとなって欲しいと思います。駐在さん、警察署職員、交通安全指導員のみなさんありがとうございました。

## 児童総会が開催されました。5月13日（金）

3～6年生の児童が一堂に会し、コロナ対策を施して児童総会が開催されました。それぞれの学年があらかじめ学級で話し合い児童総会に臨んできたため、児童会本部役員の提案に沿い、今年度の児童会活動の進むべき道がしっかりと決まりました。きちんとした話し合いの様子から、今年度の児童会活動に大きな期待を持ちました。



今年度の児童会テーマは「広めよう 挑戦 団結 助け合いの輪」に決まりました。

## 下駄箱の靴を揃えよう！！

体育環境委員会の下駄箱点検の活動が始まりました。落合小学校に伝統的に続く活動を今年度も引き継いで取り組んでくれます。毎週木曜日の朝、子どもたちの下駄箱の様子を点検してその様子をお昼の放送で知らせてくれます。第1回目の下駄箱点検日の放送は次の通りでした。

『初めての下駄箱点検なのに、ほとんどの学年の靴がそろっていません。驚きました。「靴がそろってない人がいるので直してください」と言ったら、直してくれました。みなさんが靴を揃えてくれて僕たち体育環境委員はとても気持ちがいいです。この調子で靴がいつも揃っている落合小学校にしていきましょう。』

より良い落合小学校にしようという体育環境委員会の取り組みと、それに応えようとする子どもたちが素敵だと思いました。



「はきものをそろえる」  
はきものをそろえると 心もそろろう  
心がそろろうと はきものもそろろう

ぬぐときにそろえておくと  
はくときに心がみだれない

だれかがみだしておいたら  
だまってそろえておいてあげよう

そうすればきっと  
世界中の人の心もそろおうでしょう  
(藤本 幸邦 - 長野県円福寺住職)

